

平成23年度

宮崎市「事務事業の外部評価」



宮崎市

目 次

◎第1チーム

事業番号	事業名	担当課	頁
1-8	福祉のまちづくり施設整備補助事業	建築指導課	2
1-9	景観まちづくり啓発事業	景観課	4
1-10	園芸組織強化対策支援事業	農業振興課	6
1-11	SAP会議活動支援事業	農政企画課	8
1-12	みやざきブランド定着推進事業	農政企画課	10
1-13	つくる漁業の振興事業	森林水産課	12
1-14	内水面漁業振興支援事業	森林水産課	14

◎第2チーム

事業番号	事業名	担当課	頁
2-8	障害者ワークサポーター派遣事業	障害福祉課	16
2-9	緊急通報システム事業	長寿支援課	18
2-10	生活支援配食サービス事業	長寿支援課	20
2-11	幼稚園教育振興事業（私立幼稚園協会補助）	子ども課	22
2-12	児童プール運営事業	子育て支援課	24
2-13	市営住宅使用料コールセンター活用事業	住宅課	26
2-14	収納率向上対策事業	国保年金課	28

◎第3チーム

事業番号	事業名	担当課	頁
3-8	ゴルフマンスキャンベーン事業	観光課	30
3-9	宮崎みなとまつり開催事業	観光課	32
3-10	光で彩る街並事業	商業労政課	34
3-11	宮崎市中小企業退職金共済加入促進補助事業	商業労政課	36
3-12	公用施設内緑化事業	管財課	38
3-13	消防防災フェスタ開催事業	警防課	40
3-14	救命講習普及啓発事業	警防課	42

チーム名	第 1 チーム	担当課名	建築指導課
事業番号	1-8	事務事業名	福祉のまちづくり施設整備補助事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
2			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
		1	② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
		1	③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
		1	④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
		1	⑦ その他
4		2	① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		3	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		3	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		2	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
0		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 1 チーム	担当課名	建築指導課
事業番号	1-8	事務事業名	福祉のまちづくり施設整備補助事業

対応方針	見直し
------	-----

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 1 チーム	担当課名	景観課
事業番号	1-9	事務事業名	景観まちづくり啓発事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
2			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
		1	② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
		1	③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
4		1	① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		2	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		4	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		2	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
0			現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 1 チーム	担当課名	景観課
事業番号	1-9	事務事業名	景観まちづくり啓発事業

対応方針	見直し
------	-----

判定結果に対する考え方、今後の方針等
※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。

チーム名	第 1 チーム	担当課名	農業振興課
事業番号	1-10	事務事業名	園芸組織強化対策支援事業

判定結果	不要（廃止）
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
3			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
		3	② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
		1	③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
		2	④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
		1	⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
		1	⑦ その他
2		1	① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		1	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		2	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
1		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「不要（廃止）」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 1 チーム	担当課名	農業振興課
事業番号	1-10	事務事業名	園芸組織強化対策支援事業

対応方針	見直し
------	-----

<p>判定結果に対する考え方、今後の方針等</p> <p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>
--

チーム名	第 1 チーム	担当課名	農政企画課
事業番号	1-11	事務事業名	SAP会議活動支援事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
1			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
		1	② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
		1	⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
		1	⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
4			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		2	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		3	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		1	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
0			現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
1		1	① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 1 チーム	担当課名	農政企画課
事業番号	1-11	事務事業名	SAP会議活動支援事業

対応方針	見直し
------	-----

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 1 チーム	担当課名	農政企画課
事業番号	1-12	事務事業名	みやざきブランド定着推進事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
4		1	① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		3	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		1	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
		1	⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		2	⑦ その他
2		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 1 チーム	担当課名	農政企画課
事業番号	1-12	事務事業名	みやざきブランド定着推進事業

対応方針	見直し
------	-----

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 1 チーム	担当課名	森林水産課
事業番号	1-13	事務事業名	つくる漁業の振興事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
4			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		3	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		1	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
2			現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 1 チーム	担当課名	森林水産課
事業番号	1-13	事務事業名	つくる漁業の振興事業

対応方針	見直し
------	-----

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 1 チーム	担当課名	森林水産課
事業番号	1-14	事務事業名	内水面漁業振興支援事業

判定結果	現 行 ど お り
------	-----------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択人数	区 分	選択人数	項 目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
2			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		2	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		1	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
4		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「現 行 ど お り」とした判定人の主なコメント	○ その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 1 チーム	担当課名	森林水産課
事業番号	1-14	事務事業名	内水面漁業振興支援事業

対応方針	見直し
------	-----

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 2 チーム	担当課名	障害福祉課
事業番号	2-8	事務事業名	障害者ワークサポーター派遣事業

判定結果	現 行 ど お り
------	-----------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択人数	区 分	選択人数	項 目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
2			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		1	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		1	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
2		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
2		1	① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
		1	② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「現 行 ど お り」とした判定人の主なコメント	○ その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 2 チーム	担当課名	障害福祉課
事業番号	2-8	事務事業名	障害者ワークサポーター派遣事業

対応方針	現 行 ど お り
------	-----------

<p>判定結果に対する考え方、今後の方針等</p> <p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 2 チーム	担当課名	長寿支援課
事業番号	2-9	事務事業名	緊急通報システム事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
4			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
			② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		3	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
1			現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
1		1	① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 2 チーム	担当課名	長寿支援課
事業番号	2-9	事務事業名	緊急通報システム事業

対応方針	見直し
------	-----

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 2 チーム		担当課名	長寿支援課
事業番号	2-10	事務事業名	生活支援配食サービス事業	

判定結果	現 行 ど お り
------	-----------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択人数	区 分	選択人数	項 目（複数選択可）
1			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
		1	⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
0			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
			② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
3			現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
2		1	① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
		1	② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「現 行 ど お り」とした判定人の主なコメント	○ その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 2 チーム	担当課名	長寿支援課
事業番号	2-10	事務事業名	生活支援配食サービス事業

対応方針	現 行 ど お り
------	-----------

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p style="text-align: center; font-size: small;">※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 2 チーム	担当課名	子ども課
事業番号	2-11	事務事業名	幼稚園教育振興事業(私立幼稚園協会補助)

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択人数	区 分	選択人数	項 目 (複数選択可)
1			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
		1	② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
		1	③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
3			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		2	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		1	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
2		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 2 チ ー ム	担当課名	子ども課
事業番号	2-11	事務事業名	幼稚園教育振興事業(私立幼稚園協会補助)

対応方針	見 直 し
------	-------

判定結果に対する考え方、今後の方針等
※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。

チーム名	第 2 チーム	担当課名	子育て支援課
事業番号	2-12	事務事業名	児童プール運営事業

判定結果	現 行 ど お り
------	-----------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択 人数	区 分	選択 人数	項 目（複数選択可）
1			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
		1	④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
2		1	① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		1	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		1	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
3		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「現 行 ど お り」とした判定人の主なコメント	○ その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 2 チ ー ム	担当課名	子育て支援課
事業番号	2-12	事務事業名	児童プール運営事業

対応方針	見 直 し
------	-------

<p>判定結果に対する考え方、今後の方針等</p> <p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 2 チーム		担当課名	住宅課
事業番号	2-13	事務事業名	市営住宅使用料コールセンター活用事業	

判定結果	見直しが必要
------	---------------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択人数	区 分	選択人数	項 目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
4			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		1	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		3	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		2	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
2		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
() () () ()	

チーム名	第 2 チーム	担当課名	住宅課
事業番号	2-13	事務事業名	市営住宅使用料コールセンター活用事業

対応方針	見直し
------	-----

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 2 チーム	担当課名	国保年金課
事業番号	2-14	事務事業名	収納率向上対策事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択 人数	区 分	選択 人数	項 目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
4			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
			② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		3	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		2	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
2			現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 2 チーム	担当課名	国保年金課
事業番号	2-14	事務事業名	収納率向上対策事業

対応方針	見直し
------	-----

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 3 チーム	担当課名	観光課
事業番号	3-8	事務事業名	ゴルフマンスキャンペン事業

判定結果	現 行 ど お り
------	-----------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択 人数	区 分	選択 人数	項 目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
2			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		1	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
2		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
2		2	① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
		2	② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「現 行 ど お り」とした判定人の主なコメント	○ その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 3 チ ー ム	担当課名	観光課
事業番号	3-8	事務事業名	ゴルフマンスキャンペーン事業

対応方針	現 行 ど お り
------	-----------

<p>判定結果に対する考え方、今後の方針等</p> <p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>
--

チーム名	第 3 チーム	担当課名	観光課
事業番号	3-9	事務事業名	宮崎みなとまつり開催事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択人数	区 分	選択人数	項 目（複数選択可）
2		1	① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
		2	② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
		1	⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
4			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		2	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		2	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		1	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
0			現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 3 チ ー ム	担当課名	観光課
事業番号	3-9	事務事業名	宮崎みなとまつり開催事業

対応方針	見 直 し
------	-------

<p>判定結果に対する考え方、今後の方針等</p> <p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>
--

チーム名	第 3 チーム	担当課名	商業労政課
事業番号	3-10	事務事業名	光で彩る街並事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
3			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		1	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		1	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		1	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
		1	⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
2			現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
1			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
		1	② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 3 チ ー ム	担当課名	商業労政課
事業番号	3-10	事務事業名	光で彩る街並事業

対応方針	見 直 し
------	-------

<p>判定結果に対する考え方、今後の方針等</p> <p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>
--

チーム名	第 3 チーム	担当課名	商業労政課
事業番号	3-11	事務事業名	宮崎市中小企業退職金共済加入促進補助事業

判定結果	現 行 ど お り
------	-----------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択 人数	区 分	選択 人数	項 目（複数選択可）
1			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
		1	⑦ その他
2		2	① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
			② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
3		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「現 行 ど お り」とした判定人の主なコメント	○ その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 3 チーム	担当課名	商業労政課
事業番号	3-11	事務事業名	宮崎市中小企業退職金共済加入促進補助事業

対応方針	現 行 ど お り
------	-----------

<p>判定結果に対する考え方、今後の方針等</p>
<p style="text-align: center;">※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第 3 チーム		担当課名	管財課
事業番号	3-12	事務事業名	公用施設内緑化事業	

判定結果	見直しが必要
------	---------------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
5		2	① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		1	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		4	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
1		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
0			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 3 チーム		担当課名	管財課
事業番号	3-12	事務事業名	公用施設内緑化事業	

対応方針	見直し
------	-----

判定結果に対する考え方、今後の方針等
※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。

チーム名	第 3 チーム	担当課名	警防課
事業番号	3-13	事務事業名	消防防災フェスタ開催事業

判定結果	現 行 ど お り
------	-----------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択 人数	区 分	選択 人数	項 目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
0			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
			② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
3			現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
3		1	① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
		1	② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
		1	③ その他

【判定人からのコメント】

○「現 行 ど お り」とした判定人の主なコメント	○ その他の判定人の主なコメント

チーム名	第 3 チーム	担当課名	警防課
事業番号	3-13	事務事業名	消防防災フェスタ開催事業

対応方針	現 行 ど お り
------	-----------

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>

チーム名	第3チーム	担当課名	警防課
事業番号	3-14	事務事業名	救命講習普及啓発事業

判定結果	現 行 ど お り
------	-----------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択 人数	区 分	選択 人数	項 目（複数選択可）
0			① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
0			① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
			② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
5			現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
1			① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
		1	③ その他

【判定人からのコメント】

○「現 行 ど お り」とした判定人の主なコメント	○ その他の判定人の主なコメント

チーム名	第3チーム	担当課名	警防課
事業番号	3-14	事務事業名	救命講習普及啓発事業

対応方針	現行どおり
------	-------

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p>※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p>